

据付工事をされる方へ

●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

安全上のご注意

(RW-224PD 形を据え付ける場合)

- 据え付け前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく据付工事を行ってください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

⊘ ……「禁止」を表わします。

⚠ ……「必ずしてほしい行為」を表わします。

⚡ ……「アース設置」を表わします。

*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

■据え付け上の注意事項

⚠ 警告 (誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの)



据え付け及び移設は、お買上げの販売店または、専門業者に依頼してください。ご自分で工事され不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。



床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

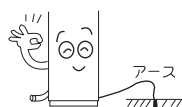


水のかかる場所や湿気が多い場所には据え付けしないでください。漏電により、感電や火災の原因になります。



アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。

アース設置 電気工事業者によるD種接地工事が必要です。



定格15Aのコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。異常発熱や火災の原因になることがあります。



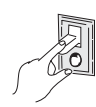
電源プラグをウォータークーラーの背面で押し付けしないでください。電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。



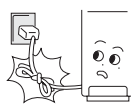
⚠ 注意 (誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性が大きいもの)



専用の漏電しゃ断器を設置してください。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重い物を乗せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。雑菌により健康を害するおそれがあります。



据付工事をされる前に

- 給水源には必ず水質基準（厚生省令第69号）に適合した飲料水をご使用ください。
- 給水圧はゲージ圧0.15～0.7MPaの範囲内でお使いください。
- 水入口バルブは必ず逆流防止のものをお使いください。
- 据付工事が完了したら、お客様に取扱説明書の内容をよくご説明ください。

■据付場所について

据え付け上の注意事項に従いお客様の同意を得てから据え付けてください。

■配管類の洗浄

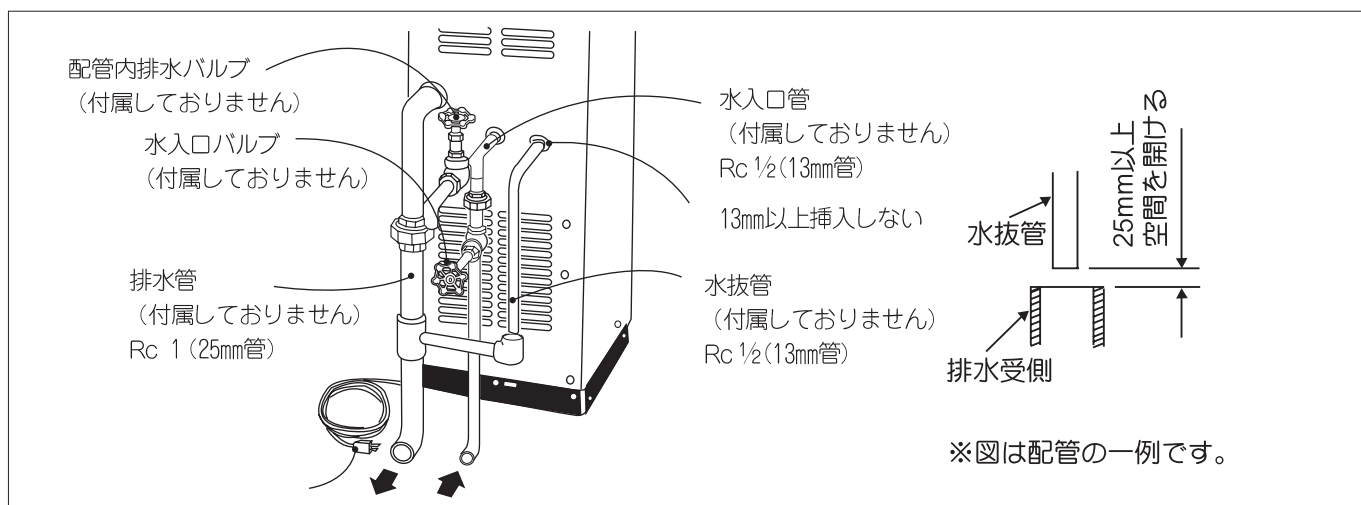
配管類は接続する前に充分洗浄してください。配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これが混入すると、ストレーナーが詰まったり、異臭を放つ水が出るおそれがあります。

このウォータークーラーは元止式です。

ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続してお使いになりますと、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンクき裂、水漏れのおそれがありますので、**改造してご使用にならないでください。**

RW-224PDを据え付ける場合

- 配管は、地域の水道局認可の硬質塩化ビニル管、硬質塩化ビニルライニング鋼管等をお使いください。



■配管を接続するときのご注意

- 水抜管を必ず配管してください。
水抜管を配管しないと、水の入れ替え中（「洗浄中」表示ランプ点灯中）、水抜口から水が噴き出します。また、水抜管の製品への接続は13mm以上挿入しないでください。13mm以上挿入すると製品側の継手が破損するおそれがあります。
- 水抜管と排水受側の間には必ず25mm以上空間を開けて、逆流を防止してください。
- 配管内の水抜きを行うために配管内排水バルブを取り付けてください。
配管内の水抜きを行いませんと、冬期など周囲の温度が氷点下になる場合、凍結し破損するおそれがあります。
- 水抜管と排水管の製品側の継手は硬質塩化ビニール製です。配管接続時に強く締め過ぎると継手が割れるおそれがありますので締め過ぎないように注意してください。
- シール剤は、配管に詰まったり、水ににおいが移るようなものは使用しないでください。

- 従来の水抜口バルブ付きの配管を利用する場合は、水抜管に接続してある水抜口バルブを常時「開」の状態にしておいてください。「開」の状態にしないと、洗浄中、冷却タンク内の水が排出されません。

■冷却タンク内および配管内の洗浄

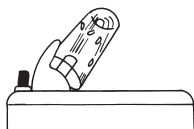
据え付け当初は、水に配管などのおいが移ることがあります。おいが消えるまで次の手順で充分水を流してください。

- ①水入口バルブを開けます。
 - ②電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - 「洗浄中」表示ランプが点灯し冷却タンク内を約7分間、強制的に自動洗浄を行い洗浄を停止します。「洗浄中」表示ランプが点灯中は洗浄の停止はできません。
- 1回の洗浄で充分なときは、「冷却タンクへの水の入れかた」の手順で水を入れます。さらに、洗浄を続けるときは、電源プラグをコンセントから抜き差しして、7分間の自動洗浄（強制）を行うか、下記手順で任意に洗浄を行ってください。
- ③ボタン連続レバーをセットします。
 - ④水抜きスイッチ（操作部に示す）を「入」にします。

●ボタン連続レバーと水抜きスイッチをセットするときは、前パネルをはずして行います。前パネルのはずしかたは本体側面の説明書をごらんください。

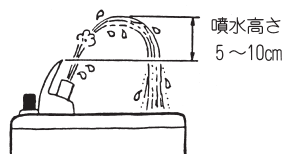
■冷却タンクへの水の入れかた

- 冷却タンク内などの洗浄が終了したら、ボタン連続レバーをセットして、水抜きスイッチを「切」にしてください。
- 冷却タンクへ水が入ると同時に、ノズルから冷却タンク内の空気が水と混って噴出するので、図のようにコップをかぶせ水の飛び散りを防いでください。
- 正常な噴水になったら、ボタンを押して連続レバーをはずしてください。



■ノズルから出る水の量の調節

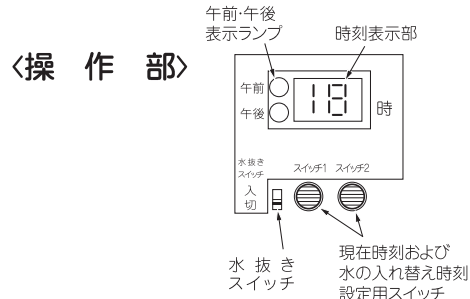
- ノズルから出る水の量の調節は次の手順で水入口バルブの開閉で行います。
 - ①水入口バルブを一旦「全閉」にして、ボタン連続レバーをセットしてください。
 - ②水入口バルブをごくゆっくり開けてゆき、ノズルから出る水の量を調整してください。
 - ③再度調整を行う場合は水入口バルブを再度「全閉」にしてから行ってください。
- 噴水の高さはノズルカバーの上端より5～10cmが適当です。（給水圧はゲージ圧0.15～0.7MPaの範囲内での調整です。）水を出した瞬間だけ水が高く飛び、水受皿から水が飛び出すことがあります。水を出した瞬間も水受皿から水が飛び出さない高さに、水入口バルブを調整してください。



水抜きスイッチについて

本体側面の説明書の要領で前パネルをはずすと、右側に操作部がありその中に水抜きスイッチがあります。

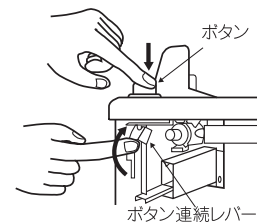
この水抜きスイッチを「入」にすると、電磁弁2が常に開いた状態になります。「切」にすると、電磁弁2は閉じます。



- 水抜きスイッチを「入」のままにしておくと、ノズルから水はでないの必ず「切」にしてください。

ボタン連続レバーのセットのしかた

- ボタンを押したまま、ボタン連続レバーを上方に90°回します。
- そのままボタンを離して、ボタン連続レバーがセットされます。

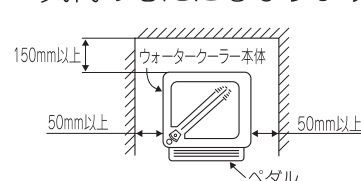


- ボタン連続レバーをセットすると、電磁弁1が常に開いた状態になります。
- 再度ボタンを押すと、ボタン連続レバーがはずれ電磁弁1が閉じます。

注意 ボタン連続レバーのセットを連続して1時間以上行くと洗浄ランプを点滅させ運転を停止します。そのときは電源プラグを抜き再度挿入してください。また、洗浄時刻は電源が入った直後およびその後24時間毎の設定に戻りますので、お望みの時刻に再設定してください。（9ページ）

■放熱のためのすき間について

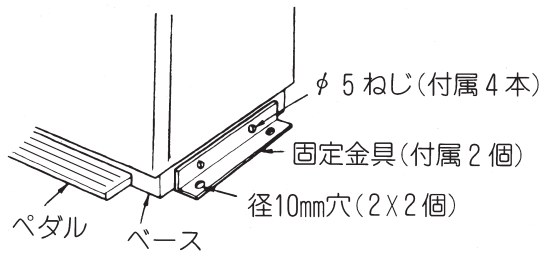
- ウォータークーラーの周囲には、図のようなすき間をとってください。すき間をとりませんと、冷却力が弱くなり電気代のむだにもなります。



- 放熱グリルの周囲は、カバーなどで覆わないでください。

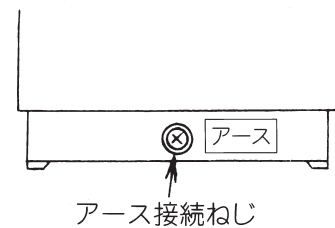
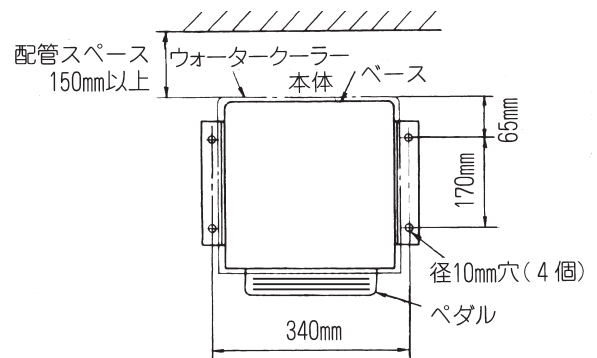
■本体を床面に固定するとき

- 転倒防止のため、ベースの両側面に付いている固定金具を図のように反転して取り付け、市販のM8 アンカーボルト等を使用して床面に固定してください。



■アース接続について

- 万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。
アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。
- アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。



⚠ 警告

●アース工事を必ず行う

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

■自動洗浄について

- このウォータークーラーは常に清潔な水をお飲みいただけるよう自動的に冷却タンクの水を入れ替える機能が付いています。
この機能は次のようなときに約7分間水の入れ替えを行います。
- 電源を入れた直後およびその後24時間毎
- 水の入れ替え時刻をお望みの時刻に設定したとき

●水の入れ替え中は電磁弁1と電磁弁2が開き
水入口・ストレーナー・電磁弁1・冷却タンク・電磁弁2・水抜口および冷却タンク、ノズルの順に水が流れます。

- お客様のご要望により時刻を設定する場合は本体側面の説明書をごらんの上行ってください。
- 水の入れ替え中は水入口管から供給される水が約7分間水抜管とノズルより排水されますので、十分な排水能力を確保してください。
なお、据付完了後には必ず水の入れ替えを行い、十分な排水能力が確保されているか確認してください。

＜水の流れ系統図＞

